

マツダ 46G マシーングレープレミアムメタリック

マツダが新型アクセラ(2016年7月発売)の新色として設定し、非常に特殊な塗色であり、自動車補修においては超難易度の高い塗色であることから、簡単ではありますが標準的な補修アドバイスを記載いたしますので、ご参照下さい。

◆ 配合情報

ベースカラー配合については、インターネット配合でご確認下さい。

【ブロック塗装編】

塗膜構成

トップコートクリアー	} 3コート仕様
メタリックベース(金属調)	
カラーベース	
(下地)中塗り	} 標準的な下地工程
(下地)下塗り	

下塗り/中塗りの塗装仕様はスィフト2Kベースコート、D-1ベースHS、VトップモナークExcellent共通です

工程	要領	ポイント										
1 下塗り	<p>★ 脱脂作業ではAutoワックスクリーナーECO^{※1} を使用</p> <p>【調合】</p> <p>★ AutoD-NexTプライマー^{※2}</p> <table border="1"> <tr> <td>AutoD-NexTプライマー主剤</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>AutoD-NexTプライマー硬化剤</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO^{※3}</td> <td>10~20</td> </tr> </table>	AutoD-NexTプライマー主剤	100	AutoD-NexTプライマー硬化剤	25	AutoウレタンシンナーECO ^{※3}	10~20	<p>★ ダメージ部分の旧塗膜剥離および研磨</p> <p>★ 旧塗膜フェザー部作りと足付け研磨および脱脂処理。</p> <p>★ D-NexTプライマー塗布による金属面防錆下塗り処理(強制乾燥 60℃×10分程度)。プライマー面の平滑研磨と清掃および脱脂処理(プライマー工程は省略可)。</p>				
AutoD-NexTプライマー主剤	100											
AutoD-NexTプライマー硬化剤	25											
AutoウレタンシンナーECO ^{※3}	10~20											
2 中塗り	<p>【調合】</p> <p>★ AutoSPSライトパテ、ポリパテ^{※2}</p> <table border="1"> <tr> <td>AutoSPSポリパテ主剤</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoパテ硬化剤 エロー</td> <td>2</td> </tr> </table> <p>★ AutoD-NexTプラサフ^{※2}</p> <table border="1"> <tr> <td>AutoD-NexTプラサフ主剤</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO^{※3}</td> <td>10~20</td> </tr> </table>	AutoSPSポリパテ主剤	100	Autoパテ硬化剤 エロー	2	AutoD-NexTプラサフ主剤	100	Autoウレタン硬化剤	20	AutoウレタンシンナーECO ^{※3}	10~20	<p>★ ダメージ部が深い場合、SPSライトパテ、ポリパテを塗布し、パテ部分の平滑研磨と目馴染しを行う。</p> <p>★ 中塗り塗布前の旧塗膜足付け。</p> <p>★ D-NexTプラサフ塗布による中塗りを行う(強制乾燥 60℃×15分以上推奨)。</p> <p>★ D-NexTプラサフの平滑研磨と上塗り用足付け処理を行う(推奨は P800 以上の空研ぎもしくは耐水ペーパーで研磨)。</p>
AutoSPSポリパテ主剤	100											
Autoパテ硬化剤 エロー	2											
AutoD-NexTプラサフ主剤	100											
Autoウレタン硬化剤	20											
AutoウレタンシンナーECO ^{※3}	10~20											

工程	要領	ポイント																		
3 カラーベース	<p>★脱脂作業ではAutoワックスクリーナーECO※¹を使用</p> <p>【調合】</p> <p>★ Autoスイフト2K ベースコート※⁴</p> <table border="1"> <tr> <td>Autoスイフト2K ベースコート</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタンシンナー※²</td> <td>150~180</td> </tr> </table> <p>★ AutoD-1ベースHS※⁴</p> <table border="1"> <tr> <td>AutoD-1ベースHS</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>AutoHS硬化剤</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>75~120</td> </tr> </table> <p>★ AutoVトップモナークExcellent※⁴</p> <table border="1"> <tr> <td>AutoVトップモナークExcellent</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>150~180</td> </tr> </table>	Autoスイフト2K ベースコート	100	Autoウレタン硬化剤	10	Autoウレタンシンナー※ ²	150~180	AutoD-1ベースHS	100	AutoHS硬化剤	5	AutoウレタンシンナーECO	75~120	AutoVトップモナークExcellent	100	Autoウレタン硬化剤	25	AutoウレタンシンナーECO	150~180	<p>★ 塗装面の清掃と脱脂処理(エアブローしながらタッククロスでゴミ・ホコリを除去する)</p> <p>★ 希釈シンナーは、気温や塗装面積応じて番手や希釈量を選定する。</p> <p>★ D-1ベースHSのカラーベースには必ず、専用硬化剤を主剤に対し 5%、計量配合してから塗装を行う。</p> <p>★ 塗装面のザラツキが出ないよう、インターバル(エアブロー)を取りながら、隠蔽するまで丁寧に塗装する。</p> <p>★ カラーベースは通常より希釈量を増やし、出来るだけ平滑性が出るように丁寧に仕上げる(次工程のメタリックベース肌に影響するため)。</p> <p>★ 次に塗装するメタリックベースへの影響が出ない様に、乾燥時間をしっかり取る。</p>
Autoスイフト2K ベースコート	100																			
Autoウレタン硬化剤	10																			
Autoウレタンシンナー※ ²	150~180																			
AutoD-1ベースHS	100																			
AutoHS硬化剤	5																			
AutoウレタンシンナーECO	75~120																			
AutoVトップモナークExcellent	100																			
Autoウレタン硬化剤	25																			
AutoウレタンシンナーECO	150~180																			
4 メタリックベース	<p>【調合】</p> <p>★ Autoスイフト2K ベースコート※⁴</p> <table border="1"> <tr> <td>Autoスイフト2K ベースコート</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>スイフト2K 配合量に対し 10:1※</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタンシンナー※²</td> <td>200~300</td> </tr> </table> <p>★ AutoD-1ベースHS※⁴</p> <table border="1"> <tr> <td>AutoD-1ベースHS</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>200~300</td> </tr> </table> <p>★ AutoVトップモナークExcellent※⁴</p> <table border="1"> <tr> <td>AutoVトップモナークExcellent</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>モナークExcelent 配合量に対し 4:1※</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>200~300</td> </tr> </table> <p>※・・・SB03 には硬化剤を必要としません。</p>	Autoスイフト2K ベースコート	100	Autoウレタン硬化剤	スイフト2K 配合量に対し 10:1※	Autoウレタンシンナー※ ²	200~300	AutoD-1ベースHS	100	AutoウレタンシンナーECO	200~300	AutoVトップモナークExcellent	100	Autoウレタン硬化剤	モナークExcelent 配合量に対し 4:1※	AutoウレタンシンナーECO	200~300	<p>★ 希釈シンナーは、気温や塗装面積応じて番手や希釈量を選定する。</p> <p>★ エア圧調整は、高くし過ぎない様(0.15MPa(1.5kgf/cm²))を目安に、また吐出量も出し過ぎない様(1~2回転を目安)に、ミストコート(スプレーガンを早く動かし、細かい霧状する)にして、塗りムラが出ないように、薄く薄く丁寧に塗り重ねる(塗装回数は実車の色に合わせて塗り重ねるため、回数指定はできません)。</p> <p>★ 毎回インターバル(エアブロー)を取りながら、試し塗りの色相に合うまで、塗り重ねる。</p> <p>★ 各メタリックベースは指で押さえても塗膜がずれなくなるまで、クワイヤーまでのセッティングタイムをしっかりと取る。</p>		
Autoスイフト2K ベースコート	100																			
Autoウレタン硬化剤	スイフト2K 配合量に対し 10:1※																			
Autoウレタンシンナー※ ²	200~300																			
AutoD-1ベースHS	100																			
AutoウレタンシンナーECO	200~300																			
AutoVトップモナークExcellent	100																			
Autoウレタン硬化剤	モナークExcelent 配合量に対し 4:1※																			
AutoウレタンシンナーECO	200~300																			

工程	要領	ポイント	
5 トップコート クリアー	【調合】	<ul style="list-style-type: none"> ★ 各調合クリアーは、一度に厚塗りをせず、塗面を荒らさない様に確認しながら、均一で丁寧な塗装を行う。 ★ 各クリアーでの毎回のインターバルでは、指触乾燥を確認し、2回目で肉付け、3回目で肌調整および仕上げを行う様に塗り重ねる。 ★ その他、DNT自動車補修用の上塗りクリアーが使用可能です(塗装条件は各クリアーの仕様に準ずる)。 	
	★ Autoブレインクリアー MX(4:1仕様) ^{※5}		
	Autoブレインクリアー MX		100
	Autoウレタン硬化剤		25
	AutoウレタンシンナーECO		0~30
	★ Autoブレインクリアー EX(3:1仕様) ^{※5}		
	Autoブレインクリアー EX		100
	Autoウレタン硬化剤		33
	AutoウレタンシンナーECO		10~30
	★ Autoブレインクリアー LG(4:1仕様) ^{※5}		
	Autoブレインクリアー LG		100
	Autoウレタン硬化剤		25
	AutoウレタンシンナーECO		10~30
	★ Autoブレインクリアー SF(5:1仕様) ^{※5}		
	Autoブレインクリアー SF		100
	Autoウレタン硬化剤		20
	AutoウレタンシンナーECO		10~30
	★ Autoブレインクリアー JT(10:1仕様) ^{※5}		
	Autoブレインクリアー JT		100
	AutoHS硬化剤		10
AutoウレタンシンナーECO	10~30		

※1… Autoワックスクリーナー(非環境対応品)でも代用可能です。

※2… 別紙カタログをご参照下さい。

※3… Autoウレタンシンナー(非環境対応品)でも代用可能です。

※4… 塗料種別の別紙カタログをご参照下さい。

※5… 別紙カタログをご参照下さい。

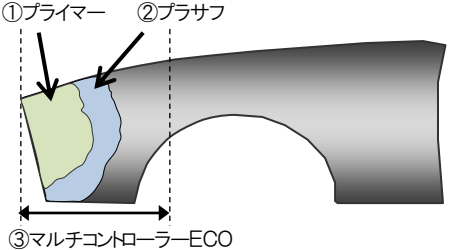
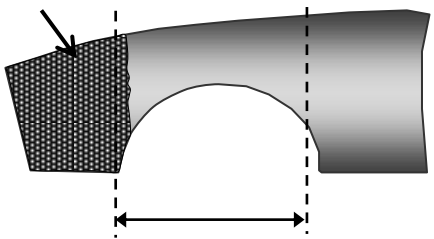
【ボカシ塗装編】

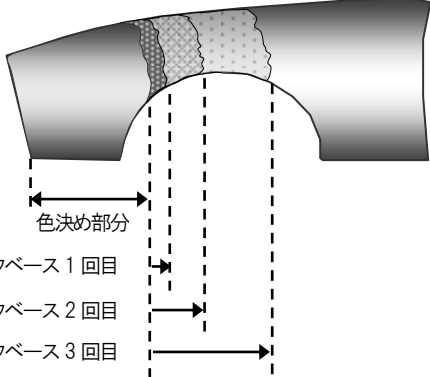
塗膜構成

トップコートクリアー	}	ボカシ用工程
メタリックベース(金属調)		
アンダークリアーベース		
カラーベース		
アンダークリアーベース	}	標準的な下地工程
(下地)中塗り		
(下地)下塗り		

下塗り/中塗りの塗装仕様はスィフト2Kベースコート、D-1ベースHS、VトップモナークExcellent共通です

工程	要領	ポイント
1 下塗り	ブロック塗装を参照	ブロック塗装を参照
2 中塗り	ブロック塗装を参照	ブロック塗装を参照

工程	要領	ポイント																		
<p>3</p> <p>カラーベースの ミスト馴染み 前処理</p>	<p>【調合】</p> <p>★ AutoマルチコントローラーECO^{※6}</p> <table border="1" data-bbox="437 302 979 383"> <tr> <td>AutoマルチコントローラーECO</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO^{※3}</td> <td>200~250</td> </tr> </table>	AutoマルチコントローラーECO	100	AutoウレタンシンナーECO ^{※3}	200~250	<p>★ 脱脂処理の拭取りが不十分な場合、カラーベース塗装時に吹き跡が出る場合がある。</p> <p>★ カラーベースのミスト馴染み性を上げるため、必ずマルチコントローラーECOをトップコートクリヤーのボカシ際の手前まで塗布する(トップコートクリヤーを全面塗装する場合は、マルチコントローラーECOを全面塗装可)。</p> <p>【マルチコントローラーの塗装イメージ】</p>  <p>①プライマー ②プラサフ ③マルチコントローラーECO</p>														
AutoマルチコントローラーECO	100																			
AutoウレタンシンナーECO ^{※3}	200~250																			
<p>4</p> <p>カラーベース</p>	<p>【調合】</p> <p>★ Autoスイフト2K ベースコート^{※4}</p> <table border="1" data-bbox="437 927 979 1048"> <tr> <td>Autoスイフト2K ベースコート</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタンシンナー^{※2}</td> <td>150~180</td> </tr> </table> <p>★ AutoD-1ベースHS^{※4}</p> <table border="1" data-bbox="437 1084 979 1205"> <tr> <td>AutoD-1ベースHS</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>AutoHS硬化剤</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>75~120</td> </tr> </table> <p>★ AutoVトップモナークExcellent^{※4}</p> <table border="1" data-bbox="437 1240 979 1368"> <tr> <td>AutoVトップモナークExcellent</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>150~180</td> </tr> </table>	Autoスイフト2K ベースコート	100	Autoウレタン硬化剤	10	Autoウレタンシンナー ^{※2}	150~180	AutoD-1ベースHS	100	AutoHS硬化剤	5	AutoウレタンシンナーECO	75~120	AutoVトップモナークExcellent	100	Autoウレタン硬化剤	25	AutoウレタンシンナーECO	150~180	<p>★ 希釈シンナーは、気温や塗装面積に応じて番手や希釈量を選定する。</p> <p>★ D-1ベースHSのカラーベースには必ず、専用硬化剤を主剤に対し 5%、計量配合してから塗装を行う。</p> <p>★ 塗装面のザラツキが出ないように、インターバル(エアブロー)を取りながら、隠蔽するまで丁寧に塗装する。</p> <p>★ カラーベースは通常より希釈量を増やし、出来るだけ平滑性が出るように丁寧に仕上げる(次工程のメタリックベース肌に影響するため)。</p> <p>★ ボカシは数回に分けて薄く薄く塗り広げる。</p> <p>★ 次に塗装するメタリックベースへの影響が出ない様に、乾燥時間をしっかり取る。</p>
Autoスイフト2K ベースコート	100																			
Autoウレタン硬化剤	10																			
Autoウレタンシンナー ^{※2}	150~180																			
AutoD-1ベースHS	100																			
AutoHS硬化剤	5																			
AutoウレタンシンナーECO	75~120																			
AutoVトップモナークExcellent	100																			
Autoウレタン硬化剤	25																			
AutoウレタンシンナーECO	150~180																			
<p>5</p> <p>メタリックベース のミスト馴染みお よび静電気対策 処理</p>	<p>【調合】</p> <p>★ AutoマルチコントローラーECO^{※6}</p> <table border="1" data-bbox="437 1471 979 1552"> <tr> <td>AutoマルチコントローラーECO</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO^{※3}</td> <td>200~250</td> </tr> </table>	AutoマルチコントローラーECO	100	AutoウレタンシンナーECO ^{※3}	200~250	<p>★ メタリックベースのミスト馴染み性を上げるため、また静電気によるメタリックベースの塗装ムラ防止のため、必ずマルチコントローラーECOをトップコートクリヤーのボカシ際の手前まで塗布する(トップコートクリヤーを全面塗装する場合は、マルチコントローラーECOを全面塗装可)。</p> <p>【マルチコントローラーの塗装イメージ】</p>  <p>①カラーベース ②マルチコントローラーECO (軽く2回程度)</p>														
AutoマルチコントローラーECO	100																			
AutoウレタンシンナーECO ^{※3}	200~250																			

工程	要領	ポイント																
6 メタリックベース	<p>【調合】</p> <p>★ Autoスイフト2K ベースコート※4</p> <table border="1" data-bbox="437 300 979 479"> <tr> <td>Autoスイフト2K ベースコート</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>スイフト2K 配合量に対し 10:1※</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタンシンナー※2</td> <td>200~300</td> </tr> </table> <p>★ AutoD-1ベースHS※4</p> <table border="1" data-bbox="437 515 979 604"> <tr> <td>AutoD-1ベースHS</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO※2</td> <td>200~300</td> </tr> </table> <p>★ AutoVトップモナークExcellent※4</p> <table border="1" data-bbox="437 640 979 819"> <tr> <td>AutoVトップモナークExcellent</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>モナークExcellent 配合量に対し 4:1※</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO※2</td> <td>100~120</td> </tr> </table> <p>※注:SB03 には硬化剤を必要としません。</p>	Autoスイフト2K ベースコート	100	Autoウレタン硬化剤	スイフト2K 配合量に対し 10:1※	Autoウレタンシンナー※2	200~300	AutoD-1ベースHS	100	AutoウレタンシンナーECO※2	200~300	AutoVトップモナークExcellent	100	Autoウレタン硬化剤	モナークExcellent 配合量に対し 4:1※	AutoウレタンシンナーECO※2	100~120	<p>★ 希釈シンナーは、気温や塗装面積に応じて番手や希釈量を選定する。</p> <p>★ エアー圧調整は、高くし過ぎない様(0.15MPa(1.5kgf/cm²))を目安に、また吐出量も出し過ぎない様(1~2回転を目安)に、ミストコート(スプレーガンを早く動かし、細かい霧状する)にして、塗りムラが出ないように、薄く薄く丁寧に塗り重ねる(塗装回数は実車の色に合わせて塗り重ねるため、回数指定はできません)。</p> <p>★ 毎回インターバル(エアーブロー)を取りながら、試し塗りの色相に合うまで、塗り重ねる。</p> <p>★ 各メタリックベースは指で押さえても塗膜がずれなくなるまで、クリヤーまでのセッティングタイムをしっかり取る。</p> <p>【カラーベースの塗装イメージ】</p> 
Autoスイフト2K ベースコート	100																	
Autoウレタン硬化剤	スイフト2K 配合量に対し 10:1※																	
Autoウレタンシンナー※2	200~300																	
AutoD-1ベースHS	100																	
AutoウレタンシンナーECO※2	200~300																	
AutoVトップモナークExcellent	100																	
Autoウレタン硬化剤	モナークExcellent 配合量に対し 4:1※																	
AutoウレタンシンナーECO※2	100~120																	
7 トップコート クリヤー	ブロック塗装を参照	ブロック塗装を参照																

※1... Autoワックスクリーナー(非環境対応品)でも代用可能です。

※2... 別紙カタログをご参照下さい。

※3... Autoウレタンシンナー(非環境対応品)でも代用可能です。

※4... 塗料種別の別紙カタログをご参照下さい。

※5... 別紙カタログをご参照下さい。

※6... 別紙カタログをご参照下さい。